

湛水直播管理情報(第2号)

～湛水表面直播(鉄コーティング)～

平成30年4月27日
アルプス農協管内農業技術者協議会

的確な水管理と適期の栽培管理で、苗立ちと初期生育を確保しましょう！

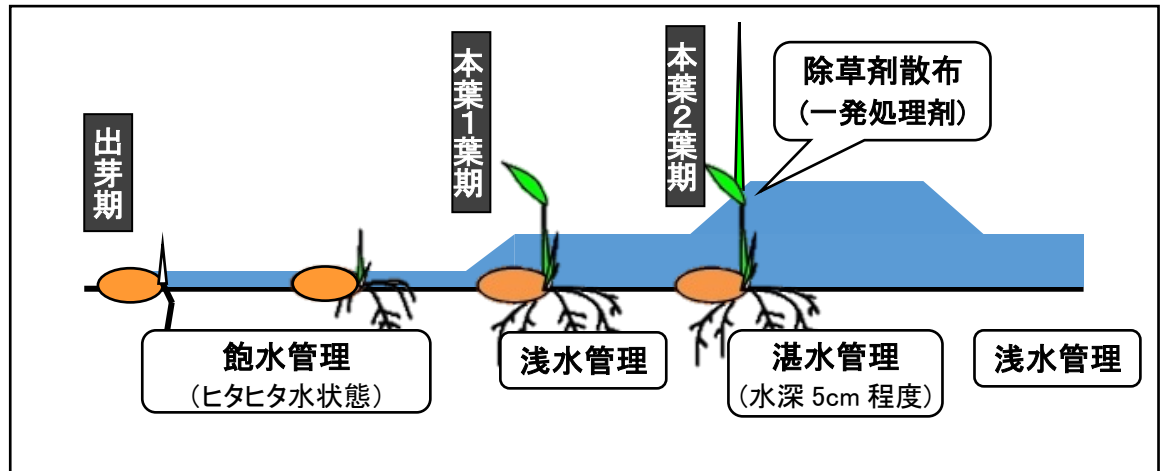
1. 出芽期以降の水管理

- ・出芽期から本葉1葉期頃まで飽水管理、1葉期以降は、浅水管理を行いましょ。
- ・浅水管理の際の入水は、朝または夕方に短時間で行い、日中は止水としましょ。
- ・除草剤(一発処理剤)を使用する場合、散布後5日間は水深5cm以上を保ち、その後は浅水管理としてください。

※深水のままだと、藻が多発したり、稲が軟弱徒長になり、苗立ちに影響するので、注意しましょ！

- ・藻や表層はく離が発生した場合は、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょ。

【出芽期以降の水管理のイメージ】



2 初期害虫の防除

- ・移植栽培と違い苗箱施薬による防除ができないため、近年、イネミズゾウムシ等の初期害虫の発生が目立つ圃場がみられます。発生状況等に応じて、防除を実施しましょ。
- (特に、直播の連作圃場では発生が目立つ傾向です！)

<防除の目安と防除薬剤(注:5月下旬～6月上旬に以下の頭数以上が見られたら防除を実施)>

対象害虫	防除の目安	薬剤名	処理量	使用上の注意点
イネミズゾウムシ	成虫数 3.0頭/10株	トレボン 粒剤	2～3kg/10a	・湛水状態(3～5cm)で均一に散布する。 ・散布後、少なくとも3～4日間は湛水状態を保つ(落水、かけ流しはしない)。
イネドロオウムシ	成虫数 0.5頭/10株	トレボン 粉剤DL	3kg/10a	・前年多発した圃場等では発生状況を必ず確認する。 ・幼虫の食害が見られたら、防除の目安を参考に防除を行う。



3 溝掘りの実施

- ・入水と落水をスムーズにし、中干しの効果を高めるため、6月上旬までに溝掘りを実施しましょ。
- ・作溝は10～15条に1本の間隔を目安に行いましょ。また、播種機でできた溝の手直しや連結を確実に行いましょ。

4 除草剤散布(雑草が残った場合)

- ・一発処理剤の散布後も雑草が残っている場合は、雑草の種類や発生状況に応じて、除草剤を散布しましょ。

発生草種	除草剤名	使用時期	10a当たり散布量	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後10日～ノビエ3葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.0kg	・5cm程度の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
		播種後25日～ノビエ4葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg	
	クリンチャーEW	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫30日前まで)	100mL (希釈水量25～100L)	・雑草の茎葉に確実に付着するよう、散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
ノビエ、マツパイ ホタルイ 他	アクシズMX 1キロ粒剤	イネ2葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫45日前まで)	1.0kg	・5cm以上の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後多量の降雨が予想される場合、使用を避ける。 ・水持ちの悪い水田、畦畔から漏水が多い水田では使用を避ける。
ノビエ マツパイ ホタルイ	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫50日前まで)	1,000mL (希釈水量70～100L)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。 ・展着剤は加用しない。
マツパイ、ホタルイ、 ミスガヤツリ 他	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700mL (希釈水量70～100L)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。

※鉄コーティング直播圃場の場合、根が露出し、株がフラフラした状態での後期剤使用は控えましょ！

→まず田干しして、根を土の中に伸ばしてから散布しましょ。

(農薬は、ラベルの内容を確認し、安全使用基準を守って使用しましょ！)

